中野成樹+フランケンズ 『半七半八(はんしちきどり)』

Shigeki Nakano + Frankens "Halfway to Hanshichi"

作·演出: 中野成樹 ドラマトゥルク:長島確

原案: 岡本綺堂『半七捕物帳』より

Written and Directed by Shigeki Nakano Dramaturge: Kaku Nagashima

Based on "The Curious Casebook of Inspector Hanshichi" by Kido Okamoto

10.6 Fri - 10.9 Mon FANCLUB (受付)、PARADISE AIR、 松戸観光案内所 (FEEL MATSUDO)、葛西屋呉服店、 古民家スタジオ 旧・原田米店、江戸川河川敷

あの親分と歩く、 江戸でも東京でもない町・松戸

この『半七半八(はんしちきどり)』は、全体を通し、時 間を溯っていく構成をとっています。1999年の金曜日か らはじまり、1991年の夕暮前に終わります。ですので、 登場人物たちは、場面を追うごとに若返り、様々な理由 はありますが不意に消えてゆきます。あるいは、不意に 、、、、、、 実在したりもする。このお話は、きらめきについての物語 でもあります。いま思えばあの頃が一番輝いていた。い ま思えばあれが最後だった。こうしておけばよかった、あ あしておけばよかった。そんな思いは世にあふれていま す。あの時はまだ○○が一緒にいたんだよね。なつかし いなあ。過去を振り返ることはかなわぬ夢をみることで す。未来を夢見ることとまるで違う、同じ夢だけど。それ でも私たちは、過去を夢見ることをやめようとはしません、 かなわないのに。なぜそんなことを? きっと知ることがで きるからでしょう。あの瞬間が何だったのか。あの時間 は何だったのか。当たり前といえば当たり前ですが、過 去を振り返ればそういったことを知ることができます。しか し、知ったところで、それを今に活かすことができるかどう かはまた別の問題です。

今回は、岡本綺堂『半七捕物帳』を出発点にしていま すので、殺人事件がモチーフとして登場します。推理物 の定型の一つとして、お客さまには探偵の役割をお願い することになりますが、『半七半八』は時間を遡る構成で すので……皆様はおそらく推理なしに犯人を知ることが できてしまいます(楽ちん!)。しかし、それを今に活かすこ とはできません。だって、起こってしまった殺人をくい止め



へしか向かいませんので、犯人を裁くこともできません。

ことのできない行いは意味のないものなのだろうか?と。 今、ここ、と切り離された、未来の、そこ、と切り離さ

頼って生きている気がします。

協力:株式会社浜友商事、株式会社まちづクリエイティブ 文化庁 平成29年度 文化芸術創造活用プラットフォーム形成事業 (PARADISE AIR事業) 松戸市 文化の香りのする街構築事業 (PARADISE AIR事業)







中野成樹+フランケンズ

2003年結成。通称ナカフラ。時代・文化風習等が現代日本と大きく 異なる、いわゆる「翻訳劇」をとりあげ、「いまの自分たちの価値観と

身体」で理解し体現する。大胆 外にて応用演劇活動も展開中。





舞台演出家、中野成樹+フランケンズ主 宰。1973年東京生まれ。日本大学芸術学 部演劇学科専任講師。近作に「えんげき よ今日もドラマをライブするvol.1』(2016)な ど。としまアート夏まつり「おばけ教室」(13-(6)、文化庁「日中韓文化芸術教育フォー

ラム」WS講師(14)など、近年は教育、地域活動にも視野を広げて いる。F/Tへの参加は『四谷雑談集』+ 『四家の怪談』(13) がある。



ることは不可能ですし、この物語において、時間は過去

そこで私は思うのです。いま、過去に向かおうとする 我々は意味のないことをしているのだろうか? 今に活かす

れた、それでも大切な何かに触ってみたい。私はそれを

中野成樹

主催: PARADISE AIR、フェスティバル/トーキョー



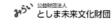


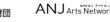


なアレンジに応援もいただくが、 原作ファン、および伝統に与する 演劇ファンからのお叱りも多い 2010年より外の刺激+フランケン ズ(通称:ソトフラ)名義で、劇場



















Festival/Tokyo Executive Committee

Chair of the Executive Committee

Committee Members

Vice Director:

Public Relations:

Administrator:

Illustrations

Booklet Design:

Program Design:

Program Coordinator

Chinese Program Coordinator:

Special thanks to the F/T Volunteer Supporters

Organizers: Festival/Tokyo Executive Committee.

pening production co-organized by the Japan Foundation Asia Center

Endorsed by Ministry of Foreign Affairs, GEIDANKYO, J-WAVE 81.3 FM

Sunshine City Corporation, Chacott Co., Ltd., HUMAX CINEMA INC.

Sponsored by Asahi Group Holdings, Ltd., Shiseido Co., Ltd.

Period: Sentember 30th (Sat) to November 12th (Sun) 2017

Merchandise:

Ticket Administration

Technical Director:

Lighting Coordination:

Vice Chairs of the Executive Committee:

Taeko Nagai (Chair, Setagaya Arts Foundation)

Chika Kawai (Vice Director, Festival/Tokyo)

Festival/Tokyo Executive Committee Secretariat

Administrative Director: Madoka Ashihara

Assistant Technical Director: Chizuru Kouno

Akiko Yonehara (Representative, NPO Arts Network Japan)

Madoka Ashihara (Administrative Director, Festival/Toky

Man Nomura (Chair, Janan Council of Performers Rights & Performing Arts Organizations: Noh actor oshiharu Fukuhara (Honorary Chair, Shiseido Co., Ltd.

Shigeo Fukuchi (Advisor, New National Theatre Foundation, Spninr Alumnus, Asahi Repwories 1 td)

Motoki Ozaki (President, Association for Corporate Support of the Arts; Corporate Advisor, Kao Corporation)

Tomohica Hinuchi (Niractor Cultural Nacion Section Cultura Commerce and Industry Nivision Tochima City)

Atsuko Suzuki (General Manager, Corporate Social Responsibility Section, Asahi Group Holdings, Ltd.)

Masato Kishi (Manager, New Theater Opening Preparation Room, Toshima Mirai Culture Foundation)

Supervisor: Mitsuke Sasaki (Niroctor General Affairs Section General Affairs Nivision Tochima City)

Production Coordinators: Akiko luman Mayuko Arakawa Shiori Sunanawa Tochifumi Matsumiya Ayano Misao

Yoshio Uiiie (Uiiie planning office)

Takeshi Furihata (FLAGS)

Takeshi Kobavashi (UNA)

Jun Watanabe

Masahiko Yokobor

Taisuke Shimanuki

Yu Ishikawa, Nagisa Inoue, Minako Iwai, Satomi Usui, Mavu Umemura, Rong Zhuoran, Rikka Katase, Shiori Kitamura,

Rei Kudo, Natsumi Kuriyama, Sara Gunnare, Mana Kamioka, Hoen Go, Ayano Kobayashi, Haruna Kobayashi, Mizuki Sawa

Mana Tsuruta, Rin Terada, Natsuko Nishi Ayano Nishimoto, Asuka Nonurhi, Tamako Noto, Hitomi Nomoto, Ani Hashimoto

Misaki Hayashi, Kotono Horikoshi, Natsuki Miyaoka, Emi Murakami, Ayana Yamamoto, Mai Yamamoto, Saki Yokomi

Toshima City, Toshima Future Culture Foundation, NPO Arts Network Japan (NPO-ANJ)

oecial cooperation from SEIBU IKEBUKUROHONTEN. TOBU DEPARTMENT STORE IKEBUKURO. TOBU RAILWAY CO., LTD.,

In cooperation with Tokyo Chamber of Commerce and Industry Toshima, Toshima City Shopping Street Federation,

Neighborhood of the Minami Ikebukuro Park, Hotel Metropolitan Tokyo, Hotel Grand City, Ikebukuro Hotel Association PR Support: Poster Hari's Company, Waseda University Tsubouchi Memorial Theatre Museum, UPLINK

kebukuro Nishiguchi Shopping Street Federation, NPO Zephyr, Ikebukuro West Gate Park Management,

Supported by the Agency for Cultural Affairs, Government of Japan in the fiscal 2017

Tochima City Federation Tochima City Touriem Accordation Tochima Industry Accordation Tochima Cornoration Accordation

Arts Council Tokyo & Tokyo Metropolitan Theatre (Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture)

Hitomi Ovama

Masava Takeshita (Uiiie planning office)

Shogo Shinomiya, Masao Yamagata, Chiho Yokoo

Takako Yokoi, Yuko Takeda, Yumiko Okazaki, Yuuri Fujii, Hironobu Hosokawa, Takashi Osada,

Sumiko Kumakura (Professor, Department of Musical Creativity and the Environment, Tokyo University of the Arts)

Sachio Ichimura (Adviser, NPO Arts Network Japan; Director, Festival/Tokyo)

Masami Suzuki (Chair, Tokyo Chamber of Commerce and Industry Toshima)

Legal Advisors: Kensaku Fukui. Hisato Kitazawa (Kotto Dori Law Office)

Akiko Ogura, Mami Kaminaga

Akiko Yonehara, Saki Hirata

Makiko Sasaki (Factor Co., Ltd.

Eiii Torakawa

Chika Kawai

Knichi Ozawa (Director, Culture, Commerce and Industry Division, Toshima City) Akira Touzawa (Secretariat Director, Toshima Future Culture Foundation)

oshihiro Tanaka (General Manager, Corporate Culture Department, Shiseido Co., Ltd.)

Nanko Hasuike (Toshima Mirai Culture Foundation: Executive Director, Dwlsoot Theater)

Vukin Takana (Mayor of Tochima City)

株式会社資生堂 名誉会長 名誉宝行委员具 高野之丰 豆馬丘衣 公益財団法人新国立劇場運営財団 顧問 アサヒビール株式会社 社友 NPO法人アートネットワーク・ジャパン 顧問 フェスティバルトーキョー ディレクター 市村作知雄 豊島区文化商工部長

野村 萬 公益社団法人 日本芸能実演家団体協議会 会長

・ 公式財団注 ↓ ▶ 1. ‡ ‡ 並立ル財団 受教理事 / 重教具具 公益社団法人企業メセナ協議会 理事長 花王株式会社 顧問 東古蘇術士学士学院国際草術創造研究科 數語 田中俊宏 株式会計資生堂企業文化部長 東京商工会議所豊島支部 会長

公益財団法人せたがや文化財団 理事長 永井多恵子 豊島区文化商工部文化デザイン課長 公益財団法人としまま李文化財団 劇場開設準備担当課長 あうるすぼっと(豊島区立舞会芸術交流センター)支配人

NPO法人アートネットワーク・ジャパン 理事長 フェスティバル/トーキョー 事務局長 河合千佳 フェスティバル/トーキョー 副ディレクター 佐々木美津子 豊島区総務部総務課長

法務アドバイザー 福井健策、北澤尚登(骨董通り法律事務所) フェスティバル/トーキョー実行委員会事務局

ディレクター 市村作知雄 事務局長 養原田花

フェスティバル/トーキョー事行委員会

十万亜紀子、荒川真由子、砂川史織、松宮俊文、三竿文乃、横井貴子、武田侑子 岡崎由宝子、藤井友理、細川浩伸、長田崇史、四宮彦吾、山縣昌雄、楊尾千穂 小倉明紀子, 神永直挙

半面見子 亚田去本 武井和美 技術監督 雷川革司

昭明コーディネート 佐々木百恵子(株式会計ファクター) 音響コーディネート 相川 晶(有限会社サウンドウィース

アートディレクション 氏室改排 (右間会計氏室プランニングオフェフ 竹下雅哉(右脚会計任家プランニングオフィス) ウェブサイト ブックレット 路越 剛 (FLAGS) 海外広報·翻訳 ウィリアル・アンドリュース

演目紹介執筆 プログラム・コーディネート 構堀応彦 ウェブマガジン編集 自書表介

石川 優、井上 渚、岩井美菜子、薄井理美、梅村真由、栄 卓然、方瀬りっか、北村汐里、工藤 怜、 栗山なつみ、グンナレ更、上岡磨奈、呉 芳園、小林礼乃、小林春菜、澤みずき、鶴田真菜、寺田 凜、 西 英津子、西本彩乃、野口明日香、能登碧子、野本ひとみ、橋本 葵、林美沙希、堀越琴乃、宮岡夏希 村上瑛美、山本采奈、山本業惟、横見咲季

スペシャルサンクス 1打サポーターのみたさま

主催 フェスティバル/トーキョー実行委員会 豊島区/公益財団法人としま未来文化財団/NPO法人アートネットワーク・ジャパン、 -アーツカウンシル東京·東京芸術劇場 (公益財団法人東京都歴史文化財団) オープニングプログラム共催 国際交流基金アジアセンター

アサヒグループホールディングス株式会社、株式会社資生堂 外務省、公益計団法人日本芸能宇宙家団体協議会。 I-WAVF 81.3 FM 特別協力 西武池袋本店、東武百賀店池袋店、東武鉄道株式会社、 株式会社サンシャインシティ、チャコット株式会社、株式会社ヒューマックスシネマ

東京高丁全議所書自古部 書自区高店街連合会 書自区町会連合会 一般社団法人豊島区観光協会、一般社団法人豊島産業協会、 公益社団法人豊島法人会、池袋西口商店街連合会、 特定非営利活動法人ゼファー池袋まちづくり、池袋西口公園活用協議会 南池袋公園をよくする会、ホテルメトロポリタン

ホテル グランドシティ、池袋ホテル会 早稲田大学坪内博士記念演劇博物館. アップリンク

平成29年度 文化庁 文化芸術創造活用プラットフォーム形成事業

(池袋/としま/東京アーツプロジェクト事業、としま国際アートフェスティバル事業)

フェスティバル/トーキョー17は東京芸術祭2017の一環として開催されます。

会期 2017 (平成29) 年9月30日 (土) ~ 11月12日 (日)







2017

10.6 Fri -11.12 Sun

パフォーマンスシリーズ

F/T in the City Performance Series



作·演出:中野成樹 ドラマトゥルク:長島 確

原案: 岡本綺堂『半七捕物帳』より 出演: 竹田英司、田中佑弥、鈴鹿通儀、福田 毅、洪 雄大、小泉まき、斎藤淳子、 昭明: 高橋革託

音響コーディネート: 庄子渉 (PARADISE AIR) 音響補佐: 有岡 哈 衣裳:橘 麻理

舞台監督:佐藤 恵 舞台監督助手: 髙島早紀 記録写真:松本和幸 記録映像:須藤崇規

宣伝美術: 植田 正 移動アテンド: 星 茉里、宮武亜季 (PARADISF AIR) 地図製作: 堀切梨奈子, 中村 直

制作:東 彩織、水渕歩知、松宮俊文(フェスティバルトーキョー) 制作アシスタント: 柿木初美 インターン: 岩井美菜子、野口明日香、橋本 萃、横見咲季

フロント運営:岩間麻衣子 主催: PARADISE AIR. フェスティバルルーキョー

協力:株式会社浜友商事、株式会社まちづクリエイティブ 文化庁 平成29年度 文化芸術創造活用プラットフォーム形成事業 (PARADISE AIR事業) 松戸市 文化の香りのする街構築事業(PARADISE AIR事業)

主催:フェスティバルハーキョー

フロント運営:滝沢麻衣

演出:北川陽子

主催:フェスティバルトーキョー

作·演出·出演: 福田 毅 記録写真:松本和幸 記録映像:冨田了平 おみやげデザイン・宣伝美術: 植田 正 制作:加藤弓奈(急な坂スタジオ)、松宮俊文、荒川真由子(フェスティバルトーキョー) インターン: 岩井美菜子、野口明日香、橋本 葵、横見咲季 制作協力: 急な坂スタジオ

『アイ・アム・ノット・フェミニスト!

作・演出・出演:遠藤麻衣 出演:村山悟郎 ドラマトゥルク: 櫻井美穂 映像/記録写真・映像:藤川琢史、宮澤 響 振付 (MV): Aokid ヘアスタイリング (MV): 山本佳代 (dolls) 衣裳 (MV)、衣裳コーディネート (結婚式): RYOTAMURAKAMI ステージディレクター: 平松隼人、横山キミ(NFWSFF) 宣伝美術: 植田 正 制作: 荒川真由子、松宮俊文 (フェスティバルルーキョー) インターン: 岩井美草子 野口明日香 橋木 茎 構見咲季

特別協力:ゲーテ・インスティトゥート東京ドイツ文化センター、南長崎スポーツセンター

構成・演出・出演: 森 栄喜 出演:綿貫大介、桐田 薫 衣裳: MOTO GUO 映像:高橋明大 映像テクニカル: 松澤延拓 宣伝美術:植田 正 制作:松宮俊文、荒川真由子(フェスティバルトーキョー インターン: 岩井美菜子、野口明日香、橋本 葵、横見咲季 主催:フェスティバル ハーキョー

快快 『GORILLA 〜人間とは何か〜

出演:山崎皓司 舞台美術:佐々木文美 音楽: 久下恵生 音響: 内田直之 舞台監督:佐藤 恵 記録写真:映像:加藤和也 宣伝美術: 植田 正 制作:快快、松宮俊文、荒川真由子(フェスティバルルーキョー インターン: 岩井美菜子、野口明日香、橋本 葵、横見咲季 主催:フェスティバルルーキョー

Written and Directed by Shigeki Nakano

Dramaturge: Kaku Nagashima Based on "The Curious Casebook of Inspector Hanshichi" by Kido Okamoto

Performers: Eiji Takeda, Yuva Tanaka, Michiyoshi Suzuka, Takeshi Fukuda, Takehiro Go. 北川 麗、佐々木 愛 / 道廣オリヴィエー真、新藤みなみ、小口舞馨 / スズキシロー (A.C.O.A) Maki Koizumi, Junko Saito, Rei Kitagawa, Ai Sasaki, Olivier Kazuma Michihiro, Minami Shindo, Maika Koguchi, Shiro Suzuki (A.C.O.A)

> Lighting: Hideya Takahashi Sound Co-ordination: Wataru Shoii (PARADISE AIR)

Sound Assistant: Rei Arinka Costumes: Mari Tachibana

Stage Manager: Megumi Sato Assistant Stage Manager: Saki Takashima

Photography: Kazuvuki Matsumoto Video Documentation: Takaki Sud Flyer Design: Tadashi Heda

Audience Movement Supervisor: Mari Hoshi, Aki Miyatake (PARADISE AIR) Man: Rinako Horikiri Nan Nakamura

Production Coordinators: Saori Azuma, Ayuchi Mizubuchi, Toshifumi Matsumiya (Festival/Tokyo) Production Assistant: Hatsumi Kakinoki

Interns: Minako Iwai, Asuka Noguchi, Aoi Hashimoto, Saki Yokomi Front of House: Maiko Iwama

Presented by PARADISE AIR Festival/Tokyo

In cooperation with Hamatomo Corporation, Machizu Creative Co., Ltd. Supported by the Agency for Cultural Affairs, Government of Japan in the fiscal 2017 Supported by the Matsudo City Community Culture Project

Written, Directed and Performed by Takeshi Fukuda Photography: Kazuyuki Matsumoto

Video Documentation: Rvohei Tomita Souvenir and Publicity Resign: Tadashi Heda

Production Coordinators: Yumina Kato (Steep Slope Studio), Toshifumi Matsumiya

Mayuko Arakawa (Festival/Tokyo) Interns: Minako Iwai, Asuka Noguchi, Aoi Hashimoto, Saki Yokomi

Production Support: Steep Slope Studio Presented by Festival/Tokyo

"I Am Not a Feminist!"

Written, Directed and Performed by Mai Endo Performer: Goro Murayama Dramaturge: Miho Sakurai

Video, Photography, Video Documentation: Takashi Fujikawa, Hibiki Miyazawa Chorengrapher (Music Video): Ankid

Hair Styling (Music Video): Kayo Yamamoto (dolls)

Costume Design (Music Video) Costume Coordinator (Wedding): RYOTAMURAKAM Stage Directors: Hayato Hiramatsu, Kimi Yokoyama (NEWSEE) Flyer Design: Tadashi Heda

Production Coordinators: Mayuko Arakawa, Toshifumi Matsumiya (Festival/Tokyo) Interns: Minako Iwai, Asuka Noguchi, Aoi Hashimoto, Saki Yokomi

Front of House: Mai Takizawa Special cooperation from Goethe-Institut Tokyo, Minami-Nagasaki Sports Center

Presented by Festival/Tokyo "Family Regained: The Picnic"

Conceived, Directed and Performed by Eiki Mori Performers: Daisuke Watanuki, Kaoru Kirita Costumes: MOTO GUO

Video: Meidai Takahashi Video Technical: Nobuhiro Matsuzawa

Flver Design: Tadashi Ueda Production Coordinators: Toshifumi Matsumiya, Mayuko Arakawa (Festival/Tokyo) Interns: Minako Iwai, Asuka Noguchi, Aoi Hashimoto, Saki Yokomi

Presented by Festival/Tokyo FAIFAI "Gorilla: What is Human?"

Directed by Yoko Kitagawa Performer: Koji Yamazaki Stage Design: Ayumi Sasaki Music: Yoshio Kuge Sound: Naoyuki Uchida

Stage Manager: Megumi Sato Photography, Video Documentation: Kazuya Kato

Flyer Design: Tadashi Ueda Production Coordinators: FAIFAL Toshifumi Matsumiya, Mayuko Arakawa (Festival/Tokyo Interns: Minako Iwai, Asuka Noguchi, Aoi Hashimoto, Saki Yokomi

Presented by Festival/Tokyo

編集・発行:フェスティバル/トーキョー実行委員会事務局 〒171-0031 東京都豊島区目白5-24-12 旧真和中学校4F TEL: 03-5961-5202 http://www.festival-tokyo.jp/

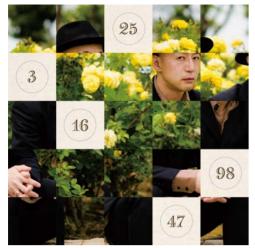
『アドベンチャー BINGO!!』 "Adventure Bingo!!"

作·演出·出演:福田 毅 Written, Directed and Performed by

Takeshi Fukuda

10.14 Sat, 10.15 Sun 東京芸術劇場 アトリエウエスト

10.27 Fri - 10.29 Sun 11.9 Thu - 11.11 Sat あうるすぽっと ホワイエ



『アイ・アム・ノット・フェミニスト!』 "I Am Not a Feminist!"

作·演出·出演: 读藤麻衣 Written, Directed and Performed by Mai Endo

10.26 Thu - 10.29 Sun ゲーテ・インスティトゥート 東京ドイツ文化センター



ファミリー・リゲインド: ザ・ピクニック Family Regained: The Picnic

構成・演出・出演: 森 栄喜 Conceived, Directed and Performed by Eiki Mori

トーク『共振する家族』11.3 Fri あうるすぽっと 会議室B

映像上映 11.4 Sat - 11.12 Sun 池袋西口公園 豊島区庁舎 1階総合案内横



快快 GORILLA ~人間とは何か~』

FAIFAI "Gorilla: What is Human?"

演出:北川陽子 Directed by Yoko Kitagawa 11.12 Sun 池袋西口公園



タテ、ヨコ、ナナメ。 バラバラの 「お話」が そろったら――?

「アドベンチャー BINGO!!」は、ビンゴカードに記された数字 の選択の仕方によって、毎回異なる側面が表れる作品

プラ・きょう 畢竟、稽古では何度も繰り返し「ひとりビンゴ大会」をや ることになる。

これが、虚しい。

タテ・ヨコ・ナナメと数字が揃って「ビンゴ!!と叫んでも、ひ

「あーあと1個でビンゴだったのに!」と悔しんでも、ひとり。 そう、今回ほど、お客さん・誰かがいるって大事だなぁと痛 感するクリエーションはないのですが、

じゃあ、お客さん・誰かって、何だろう。

お客さん・誰かとのコミュニケーションって、何だろう。 お客さん・誰かと、コミュニケーションの、冒険が、ハッピー にビンゴするといいなぁ。

ピース。

福田 毅 俳優。中野成樹+フランケンズ所属。劇 団公演のほか、『From the Sea』(F/T14)な ど、客演も多数。2009年よりソロ・パフォー マンスを開始、近作にTwitterに書きとめた 寓話を構成した「鷹」、同作の改訂版「か も』(共に2015)、『ふくちゃんねる』(F/ T16) など。







F/T16『ふくちゃんねる』 ©Kazuyuki Matsumoto

「結婚」を滞在制作し、演じる。 アパートの一室から見る 制度、社会

今年はファッションで取り入れられたりと、フェミニストが 流行した年だと感じています。多くの人にフェミニズムが 認知されることは、キャンペーンとして成功したと言えるの でしょう。しかし表層的な消費の加速は、フェミニズムが 内包している私的なゆがみや感性を置き去りにしていって はいないでしょうか。普遍性の獲得と個別な感性の間で 葛藤する存在として、フェミニストの活動は位置している と、私は考えます。

結婚は、社会一般の法制度でありつつ私個人の生活 でもあります。本作は、普遍的価値と私的な感性の間に 位置するものとして、この結婚にフォーカスをあてていま す。そのため、親族や知人友人だけでなく、広く一般にむ けた作品として発表することとしました。私/公の切り分 けを行わず、ないまぜな状態で結婚式を描きます。

婚姻届を出すとき、私はあたり前のように夫の苗字に 変更しました。日本の法律では夫婦同姓を定めてはいま すが、どちらの苗字にすべきかまでは定めていません。に も関わらず、私たち夫婦は、妻よりも夫が苗字を変えるこ との方が腰が重い作業のように感じていました。よくよく 考えてみると、じゃんけんやくじで決めてもいいし、二人で 新しい苗字を作ることを試みたってよかったのかもしれま

それに、恋愛を基盤にしたモノガミーな結婚観はどうで しょうか。近年の過熱する不倫報道からは、日本の婚姻

制度のタテマエとホンネが見え隠れします。夫婦間におけ るセクシャリティの拘束については、新たな価値観が必要 だと考えます。

漠然と当たり前だと思っていることをちょっと見直せば、 これまでより息をしやすくなる。そう考えて、今回自分たち の婚姻関係を見直すことにしました。

この試みは、男女が対等になることを目指すだけではあ りません。対等でなく、ニーズが異なった状態でもなお、 互いを尊重し、その上で一緒にいることができる方法を模 索することです。

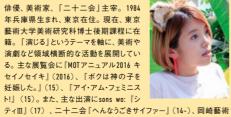
遠藤麻衣

特別協力:ゲーテ・インスティトゥート 東京ドイツ文化センター、南長崎スポーツセンター



遠藤麻衣

年兵庫県生まれ、東京在住。現在、東京 藝術大学美術研究科博士後期課程に在 籍。「演じる」というテーマを軸に、美術や 演劇など領域横断的な活動を展開してい る。主な展覧会に「MOTアニュアル2016 キ セイノセイキ』(2016)、『ボクは神の子を 妊娠した。』(15)、『アイ・アム・フェミニス ト!」(15)。また、主な出演にsons wo: 『シ



座 『イスラ!イスラ!イスラ!』(16)、岸井大輔 『始末をかく』(13-18)、西 尾佳織 『透明な隣人 ~8-エイト-によせて~」(F/T14) などがある。

同性カップル+子供。 まち行く人々が切り取る 「家族」の肖像

小さい頃、毎週末のように家族で近所のジャスコに行く のが楽しみでしょうがなかった。父は工具、母は洋服、姉 と僕はおもちゃコーナーで思い思いの時間をすごす。まだ 携帯がない時代、おもちゃを見るのに飽きて、父や母をだ だっ広い店内で捜しに行くのもちょっとした冒険みたいで 楽しかった。時間になると待ち合わせ場所に集まって、み んなでソフトクリームを頬張った。毎週末の家族との特別 な「ピクニック」のような、とても大切な思い出だ。

大人になり、僕なりの「ピクニック」をみんなで一緒に楽 しみたいと思った。僕ともうひとりの男性と男の子が、日 曜日、ちょっとよそ行きのかわいい服(でも全身真っ赤っ か)を着て街へ繰り出す。そこで偶然出会った人々にカメ ラを渡して、僕たちのことを撮影してもらう。 風景(社会) に全く溶け込めていない、真っ赤な服装をした同性同士 と子どもという異質な存在の3人が、赤く現像された写真 の中でだけは、まるで普通の家族のように街の風景に溶 け込んでいる……。たとえ写真の「赤い世界」の中だけ だとしても、他者を通して家族として肯定されていく過程を 映像として記録していくことで、僕たちの意識や社会の環 境をこれからどう変革するべきなのか、僕自身、そして皆さ んとともに、家族の未来像を思い描きながら考えるきっか けになればと思っています。



森 栄喜

森 栄喜

写真家。1976年石川県生まれ 2014年 [intimacy] で、第39回 木 村 伊 兵 衛 写真賞を受賞。『Crows and Pearls』(2009)、 『tokyo boy alone』(2011) などの作品集の ほか、同性婚をテーマにしたパフォーマンス 『Wedding Politics』(2013 ~ 2016)がある。新 作『Family Regained』(ナナロク社)が今秋刊

都会のジャングルに生きるゴリラ /人間の息吹を感じよ!

池袋西口公園に突如現れる一匹のゴリラ。

音楽家によってリズムが奏でられ、ゴリラ役の俳優はから だを揺さぶる。

俳優はその肉体の限界まで、何に縛られる事なく踊る。

約40分後、通りすがりの観客たちは演じる事が出来なく なった俳優の姿を目撃する。

都市を舞台に私たちは、漠然とした不安を抱えつつ、私と いう役を演じながら生きている。

人間とは何か。

地球に生きるものの一員として、ヒトとは何かを考える。

北川陽子





「GORILLA's Speech」(2017)

提供:東京芸術祭2017



快快(FAIFAI)

2008年結成。複雑な現実、メディア状況 に多様かつポップな手法をもって挑む創 作集団。10年代表作『My name is I LOVE YOU」が、チューリヒ・シアター・スペクタク ルにて、アジア人初の最優秀賞を受賞。 ホテルのスイートルームで上演した近作 『CATFISH』(17)も話題を呼んだ。